

## 市長選で公開討論会 主な立候補予定者へ「市民マニフェスト」問う

4月17日告示の明石市長選へ向けて、2名の立候補予定者が名乗りを上げました。一人は市議会の4つの会派などが出馬要請した県民局長の県職員(15日付けで退職)、もう一人は元衆院議員の弁護士です。明日の明石市政をつくる会は、「市民マニフェスト」についてこの2名の方に公開討論会への出席を要請し、3月8日(火)に公開討論会を開催することにしました。

2代にわたって市長が失脚した明石市政の舵取りを、いずれかに委ねられるのかどうか？  
公開討論会を通じて、市民の目でしっかりと見定めましょう。

**3月8日(火)夜7時～9時30分**  
**明石市民会館 中ホール (市役所前)**

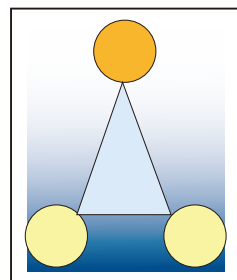
◇どなたでも参加できます。入場無料◇

明石市はいま、重大な岐路に立っています。昨年4月には3年がかりで策定した明石市の“憲法”でもある「自治基本条例」が施行され、「市民参画」と「協働のまちづくり」「情報共有」を柱とした新しい自治体づくりに踏み出しました。

ところがその矢先、北口市長は市議会等で数々の不祥事が明らかにされ、市長としての資質が問われて全会派一致で問責決議が可決され、今春の3選出馬を断念しました。8年前に岡田前市長が大蔵海岸花火大会事件の責任を問われて任期途中で退陣したのに続く、2代連続しての市長失脚といえます。

他方、明石市はこうした市長のもとで市政が停滞し、財政窮迫が募る一方、昨年の明石フェリー(たこフェリー)の休止や中心市街地の整備が滞っているほか、大蔵海岸埋立事業や駅前再開発事業の大きなツケがかぶさり、市民病院などの医療体制もピンチが続いています。

今春の「市長・市議同時選挙」は、こうした待ったなしの課題を解決し、北口市政の下で急落した市役所職員のモラルアップを図り、市民と行政、議会が協働して明石の市政とまちを立て直していくことのできるリーダーを選ぶ重要な選挙です。市長を選ぶモノサシづくりに挑戦した「市民マニフェスト」を手がかりに、公開討論会に参加して選択する目を磨きましょう。



# 明日の明石市政をつくる「市民マニフェスト」

今回の市長・市議選挙は、明石市が自治体の“憲法”である「自治基本条例」を昨年4月に施行してから初めての選挙であり、「参画」と「協働」「情報の共有」を掲げた自治基本条例にもとづく本格的な「市民自治」の市政を築いていく極めて重要な選挙です。これまでの市政の体質や運営を根底からあらためて、市民主体の市政とまちづくりを進めていくトップリーダーを選ばなければなりません。

自治基本条例に基づき、明石市はこれから何を、どのように進めていくのか。市民マニフェストは、明石のまちの都市像をイメージしながら、市政のありようを市民自らの手で、市民と職員ならびに議員に具体的に提示していくものです。

私たちはまず、選挙で主権者市民の「信」を問おうとする立候補予定者に対して、地域集会を重ねて市民がまとめた「市民マニフェスト」を提示し、その課題と方向性をどのように実現しようとするのかを問いたいと思います。そのことによって、当該の人材が市政を「負託」するに足るのかどうかを判断する目安とします。

明石市の状況は、もはや待ったなしの状態にあります。重要施策に優先順位をつけながら、速やかに答えを出していかなければなりません。選挙を通じて、市政改革と議会改革を進めていく貴重な機会としましょう。

## I. 自治・参画の基本にかかわる姿勢 (主なマニフェストの内容を要約しました)

### 1. 市民力の向上を図る仕組み

- 市民参画条例(案)の抜本の見直しと、条例づくりへの市民参加の徹底を図るとともに、協働のまちづくりの仕組みづくりには、地域住民が全面的に参画する
- 人材発掘と市政参画への具体的な政策提言の場として「明石市民会議」を創設する

### 2. 行政運営の原則と組織の改革を進め、職員の意識改革とモラルアップを図る

- 「参画」「協働」「情報共有」の進展へ向けて市政運営の原則と仕組みを抜本的に変える。
- “カラ割り”職員研修を継続し、市民と協働する市役所機能と職員能力を発揮できる人事制度

### 3. 情報の共有

- 情報共有を進めるために、意思形成過程の情報も含む等の情報公開条例の抜本改正を行うとともに、双方向の受・発信システムを構築する。

## II. 個別具体的な政策にかかわる姿勢 (主なマニフェストの内容を要約しました)

### 1. 安心して住み続けられる福祉のまちづくり

- 障害者の就労と地域での自立した暮らしを支えるための住まいの確保
- 地域包括ケアの仕組みを再検討し、介護と福祉、医療が連携して高齢者と障害者の生活をきめ細かく支援する仕組みを構築する

### 2. 教育と文化の香り高い学びのまちづくり

- 学校と地域との結びつきを強化し、地域で担う教育と子育て文化を高める
- 「明石文化情報ネットワーク」を育て、市民の文化芸術活動を支援する

### 3. 明石らしい環境を生かした生活産業都市づくり

- 明石港の再生と中心市街地の活性化を図り、交通や利便性の高い環境住宅都市のまちづくりを推進
- 明舞団地再生事業について、「地域総合再生」の視点から地域住民の自律的活動を支援する
- 農・水産業を生かし一次産業を明石の基幹産業として生産、加工、流通、消費、飲食、レクリエーションを一体的に推進する
- 財政再建と環境立市(志)の都市づくりをめざして、ハコもの事業は新規、継続事業ともいったん凍結し徹底的に見直すとともに、市街地の遊休土地や施設などの遊休資源を徹底的に利・活用する方策を推進する。
- 生物の多様性を維持・創出するための水と緑・海洋の一体的整備を進めて、明石の自然環境を豊かにするとともに、環境教育・学習の場の提供を進める

<市民マニフェストの全文は、ホームページでご確認ください。 <http://akashi2011.com/>>